

平成 26 年度東金青年の家主催事業 子どもキャンプ③ <8月3~7日>

今年の【子どもキャンプ】も、今回が最終回です。これまでに学んだ技術を、生活に活かせるものにするため、テントサイト作りや自作したイカダでの川下り、子どもたち主体での野外炊飯など、仲間と知恵を出し合い、協力する活動を行いました。

キャンプの後半では、キャンプファイヤーや、自然の中で自己を見つめる活動などを通して、事業で学んだ事をどう活用したらいいかを考えました。最終日には、仲間達との別れに涙を流す子ども達も見られ、とても思い出深いキャンプとなりました。



ロープワークなど、これまでに学んだ事を利用して、テントサイトを作りました。着替えるためのスペースや雨どいなど、生活に必要な設備を整えました。



テント設営や野外炊飯など、キャンプの基本となる作業は、子どもたち主体で行いました。



イカダやパドルは、木材を加工して作りました。



イカダでの川下り。自分達が乗るイカダを川べりで完成させ、海を目指しました。強い向かい風の中、イカダがバラバラになる班もありましたが、全ての班がゴールにたどり着きました。屋形海岸では、ライフセイバーから、海の安全や津波についての講習を受けました。

ふりかえりも重要です。キャンプファイヤーでは、これまでの活動を思い返しました。また自然の中で、自分と向き合い、将来について考える時間を設けました。



【今回のキャンプでは…】

- ① これまでに学んだ事を活かして、生活の基盤となるテントサイトを作りました。
- ② 仲間と力を合わせて、自作したイカダでの川下りにチャレンジしました。
- ③ キャンプファイヤーや自然とのふれあいを通して、自己を見つめました。
- ④ 食事作り等の作業を、子どもたち主体で行いました。

**5日間の活動を通して、
子ども達は、少し逞しくなりました！**

